

## 議会活性化検討委員会での主な意見

## 1 主権者教育の具体的な取組について

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代との意見交換会の更なる充実</li> <li>・議会の役割などを知ってもらうための出前講座、親子議会教室、議場見学などの実施（説明は、議員が担当）</li> <li>・低投票率を示す客観的数値のパンフレット、議会報などでの周知と、議員による街頭での啓発（呼びかけ）</li> <li>・議場開放デーの開催（こどもフェスティバルに合わせた議員体験の実施）</li> <li>・議員の仕事を紹介する動画の制作</li> <li>・子供向け議会報の発行</li> <li>・子供議会の対象拡大（高校生、大学生）</li> </ul>

## 2 議会中継に手話通訳や字幕をつけるなど、合理的配慮を行うことについて

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全く聞こえない方については、傍聴するならば手話通訳や要約筆記で対応できるが、傍聴しない場合は、議事録が出るまで内容が分からないため、そこを改善する必要がある。将来的には、会議全体へ手話通訳を導入し、それを生中継及び録画中継にも導入することを目指す。</li> <li>・難聴者には字幕が必要で、リアルタイムでの字幕表示の導入を目指す。</li> <li>・様々なやり方があるので、時間をかけて研究し、段階的に導入することも可能と考える。</li> <li>・費用の問題もあるので、この点も考慮しつつ検討すべき。</li> </ul>